

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和6年度第2回入間市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和7年3月19日(水) 午後2時00分 開会 ・ 午後3時30分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 B 棟4階 大会議室
議 長 氏 名	小林 昌幸
出席委員(者)氏名	小林 昌幸、浜野 良一、岡崎 洋志、小野 吉雄、垣本 美紗 熊木 真知子、齋藤 勝久、平岡 武、吉岡 和広、渡邊 定夫
欠席委員(者)氏名	有賀 健高、河村 佑毅、齋藤 定利、成尾 耕治、河野 真夢
説明者の職氏名	エコ・クリーン政策課 主幹 榎本 覚
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	【審議会】 1 開 会 2 異動者への委嘱状交付 3 会長あいさつ 4 議 題 (1)入間市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて 5 その他 6 閉 会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	資料1 入間市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて
事務局職員職氏名	【環境経済部】 部長 岸 道博、次長 吉野 博明 参事兼エコ・クリーン政策課長 石見 彩 参事兼総合クリーンセンター所長 石井 治彦 副参事(清掃指導・ごみ減量推進担当) 増田 暁伸 【エコ・クリーン政策課】 主幹 榎本 覚、主査 西村 卓也、主任 神田 啓佑 主任 関根 千紘 【総合クリーンセンター】 主査 山崎 元博
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

【審議会】

○異動者への委嘱状交付

人事異動により変更となった審議委員へ委嘱状を交付した。

○議題

(1) 入間市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて

入間市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて事務局から説明を行い、審議委員による意見交換を行った。

○その他

(1) 令和7年度の審議会の予定について

令和7年度の審議会の予定について、事務局から説明を行った。

以上

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
司会(神田) 岸部長 小林会長	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。) 1 開 会 2 異動者への委嘱状交付 3 会長あいさつ 4 議 題
事務局(榎本)	(1)入間市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて (資料1「入間市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて」に沿って説明)
小林会長	事務局の説明の中でご質問はございますか。
吉岡委員	ごみの排出量の詳細について、資料 P14「3.近隣市の状況」、P17「現状での取組を考慮した排出量予測の結果」を見ると、計画目標年度である令和17年度の家庭系ごみ1人1日排出量が、所沢市と狭山市の令和4年度の排出量よりも多くなっています。これは何が原因なのでしょう。原因がわかると対策しやすいのではないのでしょうか。
事務局(榎本)	非常に難しいところですが、はっきりと異なる点は可燃ごみの収集回数です。現在、入間市は週3回収集していますが、所沢市と狭山市は週2回の収集となっています。不燃ごみについても、入間市が週1回であるのに対して、所沢市は隔週の収集となっており、これらが一因になっていると考えています。一方で、日高市は処理方法がかなり違うため、比較が困難かと思われます。 入間市では今年度ごみの組成調査を行い、年度末に向けて取りまとめを行っているところです。この調査で入間市のごみはどんなものが多いのかという分析を行い、どのごみを減らしていくか対策を考えていく必要があると考えております。

発 言 者	発 言 内 容
吉岡委員	回収頻度の話がありましたが、回収頻度を減らすと市民のごみを減量するという意識も高くなると思います。現状では、すぐにごみを出せる環境であるため、生ごみの水分を切らずごみを出している家庭が多いように思います。
事務局(榎本)	収集回数が多いことは市としても認識している部分であり、以前審議会からも収集回数を見直した方が良いというご意見をいただいていることもあり、将来的に見直しが必要になると考えています。
小林会長	ごみ収集業者の人員不足という話もあります。それも含めて今後の課題ということで、審議員の皆さまにはご意見をいただきたいと思いますので、その際はよろしくお願いいたします。 ほかにご質問はございますか。
齋藤(勝)委員	先ほどから近隣市のごみの量の話が出ていますが、入間市と狭山市は隣接しているため、生活環境はそれほど変わらないと思われます。そのため1人あたりに出るごみの量もそれほど変わらないと思うのですが、これだけ差があるということは、生活環境以外に要因があるのではないかと思います。どのように思いますか。
事務局(榎本)	おっしゃる通り、生活環境や社会環境的な部分はそこまで変わらないと思います。違いは、やはりごみに対する意識の部分が大きく関係するかと思われます。先ほど吉岡委員もおっしゃっていた通り、入間市はごみの収集回数が多く、ごみをすぐに出せるため、その分他市と意識の違いが出てくるのかと思います。私たちもこれまで、この事実を市民の皆さまへ伝えてこなかったため、まずは他市の排出量等を示しつつ、皆さまに状況を知っていただくことから始める必要があると考えています。それによって意識が変わり、皆様にごみを減らしていくことを考えていただきたいと思いますと思っています。

発 言 者	発 言 内 容
小林会長	これから市が他市と意見交換する場もあるかと思いますが、その際は他市の取組も参考にしながら、良いところを入間市にフィードバックしてほしいと思います。
熊木委員	近隣で最も人口が多いにも関わらず、所沢市のごみの量が少ないというのは、以前発生したダイオキシン問題が関係あるのではと思います。その辺の原因は所沢市から何か聞いていますか。
事務局(榎本)	所沢市と入間市のごみの分別方法について、細かい違いはありますが、大きな差はありません。繰り返しになりますが、収集回数の問題などで意識に違いがある可能性はあると思います。この部分については、他市としっかりと情報交換をしていきたいと思います。
小林会長	ほかに質問はございますか。
齋藤(勝)委員	川口市でリチウムイオン電池の発火が原因で火災が発生しましたが、この事故について市はどのように考えているのか、またどのような広報活動をしているのか聞きたいです。
事務局(石井)	リチウムイオン電池の取り扱いについては、将来的に分別方法を変更しなくてはならないと考えています。今はリチウムイオン電池を有害ごみ、家電製品は不燃ごみで出すようお願いしておりますが、家電製品にはリチウムイオン電池が内蔵されているものが多くあります。不燃ごみは破砕機で細かく碎いて金属と他の物に分けていますが、その過程でリチウムイオン電池が破壊されて液体が飛び散り、発火することがあります。そのため家電製品についても有害ごみに変更する必要があると考えています。また、国や県からも収集業界へ回収ル

発 言 者	発 言 内 容
小林会長	ートをしっかりとするよう注意喚起があると思いますので、対応していきたいと思います。 ほかに質問はございますか。 ないようですので、議題は以上となります。議長の座をおろさせていただきます。 5 その他 (事務局より「令和7年度の審議会スケジュール」と「ごみ収集回数の見直し」について説明) 令和5年度の審議会の答申にて、ごみの収集回数を見直しを行った方が良いとご意見をいただいたため、可燃ごみの収集回数を3回から2回に見直すことを念頭に置いて、令和7年度以降、検討を進めていくこととしています。今後、審議会にも進捗状況を随時報告いたします。 5 閉会 (閉会のあいさつ)
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和 7 年 4 月 22 日 議 長 の 署 名 <u>小林昌章</u> 議長が指名した者の署名 <u>浜野良一</u>	